

Bangladeshにおける病院（Labaid 病院）の周産期医療周辺情報

a. 病院概要

Labaid 病院（300 床）は中高所得者層をターゲットとする私立病院である。また、複数の検査センターを有する検査チェーン企業でもある。分娩室・NICU を視察した。助産師は不在である。

b. 分娩室

1 分娩室を完備し、1 日平均2～3 件の経膣分娩を行っている。CTG モニターが設置されていたが、使用頻度は低いとのことであった。分娩介助は基本的に医師が行う。分娩台は2台あり、カーテンにより仕切られていた。分娩や帝王切開の手技は確認できなかった。

c. NICU

NICU には2 台のオープン型の保育器、人工呼吸器があった。人工呼吸器管理も可能であり、設備は整っていた。輸血やレントゲン等も可能とのことであった。